

育ちの芽



副園長 奥村 綾

～年中行事～

幼稚園では、季節感や日本の文化について学ぶ年中行事を大切にしています。子ども達にとって年中行事は大きな楽しみであり、さまざまな年中行事の意味や由来などを知り、楽しい思い出を通して豊かな感性や情緒を育てていきます。

☆たなばたさま☆ ～あらすじ～

たくさんある星の中で大きな星は星の王様。その王様のたったひとりのかわいい娘である織姫はとてもきれいな星でした。はたおりの仕事をする織姫と牛飼いの彦星が出会い、仲良くなった二人は、お話をしたり、遊んだり、お遊戯をしたり、全く仕事をしなくなりました。そんな様子を見ていた王様は、遊んでばかりいるふたりを見てたいそうお怒りになり、織姫と彦星は東と西に離れ離れにされてしまいました。

王様は一生懸命仕事をしながらも、毎日毎日寂しそうにしている二人をかわいそうに思われて、

「これから先、一年に一度、七月の七日に会ってもよろしい。この日だけはふたりとも仕事を忘れて遊びなさい。」と許してくれました。

こうして織姫と彦星は七月七日だけ、天の川にかかったかささぎの橋を渡り、会う事ができるようになりました。

先日、園庭を舞台に先生達による『たなばたさま』の劇を、園児全員で観ました。劇が始まると、園庭や保育室前の廊下、2階のベランダにいた子ども達は、「シーン・・・。」と静まり返り、織姫(小林先生)や彦星(井上先生)の演技に見入っていました。牛さん(向田先生)の動きを見て笑ったり、お怒りになった迫力ある王様(齋藤先生)が登場した時には、泣きだす年少児もいましたが、たなばたのお話を、最後まで集中して聴くことができました。

劇が終わった時には、「夜になったらお星さまが見えるよ」と年少児も、たなばたのお話を理解している子もいました。その日以降、各クラスから♪ささのはさ～らさら～♪という歌声が聴こえ、七夕を楽しみにしている姿が見られます。

ある日、しろ組の園児が「七夕祭りをしてもいいですか？」と職員室に聞きに来ました。

園児「たこ焼きをしたい」「わたあめしたい」「かき氷もしたい」

奥村「お祭りをしたいの？でも、今はコロナだから食べ物やさんは難しいかなー」

園児「ちゅうで一。新聞紙丸めてとかやで」

「ほんとは本物がいいけど無理やからうそのやで一」

「ほんで盆踊りとかもしたい」

奥村「なるほど。お祭りみたいにするんやね？しろ組さんだけですか？」

園児「みどりもすみれも、年中さんと年少さんにも言いに行く！」

奥村「楽しそうだねー。いいよ。」

園児「やったー！しろ組さんに言いに行こー」

その日から、年長組では、各クラス話し合いが盛んに行われ、金魚すくいやお面やさん、ポテトやさんや射的など、話が夏祭りの方向へ盛り上がっていきました。また、年少の頃に『たなばたほしつきランド』で見た花火が印象的だったようで、花火作りを楽しんでいる子ども達もいます。き組では、笹飾りについての話を聞き、食べ物に困らないようにすいかやきゅうりなどを飾ることを知ると、アイス、さくらんぼ、シャーベット、みかん、ゼリーなどを作りたいと、食べ物ばかりの意見が出ました。あか組では、色水遊びが盛り上がっていて、おいしそうな色のジュースが出来上がると

「これを年長組さんのお店で売ったらいいんじゃない？」と提案してくれました。

年少組は、三角四角つなぎをしました。青い四角の色紙を、机2台分になるまで長く繋げる子がいたり、三角からリボンやお星さまに見立てたりする子がいました。

☆たなばたに笹(竹笹)を飾るのはなぜ??

竹は冬の寒さにも負けず、真っ直ぐ育つ生命力が備わっていることから、昔から神聖な力が宿っていると信じられており、あらゆる神事に使われていました。

☆笹飾りの意味☆

短冊…字が上手になるようにとの願いを込めて、文字で願い事を書いて飾ります。

提灯…織姫と彦星に灯りをささげるための飾りです。

野菜…食べ物に困らないようにと願って、すいかやきゅうりなどの野菜の形を飾ります。

網 …魚がたくさん獲れますようにと願って網を飾ります。

ひし形つなぎ…裁縫が上手になるように願って飾ります。

☆たなばた遊び☆

5日(月)、幼稚園に大きな笹や小さな笹が届きます。園庭やピロティに、笹飾りや短冊など思い思いの物を飾り、年長組さんが、7月7日の『たなばた』の日に、たなばた遊びを計画中です。たなばた遊びの様子は、動画配信します。

例年、全員笹を持ち帰っていただいています。ご家庭でも、子ども達と『たなばた』をお楽しみいただければと思います。

◎笹は園児1人につき1本用意しています。5日・6日の降園時に、クラス前に置いてある笹を受け取り、1本ずつお持ち帰りください。

ホーム・のびのびの方は、お迎えの際に、園庭側の保育園前に置いてありますので、職員に声を掛けて1本ずつお持ち帰りください。

※笹の持ち帰りを希望されない方は、お申し出ください。

※子どもが持つと目に刺さったりして危険ですので、必ず保護者がお持ちください。

◎短冊やこよりの和紙、飾りの色紙なども、各保育室前やピロティに用意していますので、ご自由にお持ち帰りください。

◎こよりの作り方の見本はピロティに掲示し、配信もします。